

高校生のための「ジオアート Jr マイスター養成講座」報告

1. 目的：郷土愛とレジリエンス能力のある高校生を育成し、若者が郷土に定着する持続可能な地域社会を創出する支援を行うプログラムとして開講した。

2. 参加者：香川県下高校1、2年生23名

3. 日程と内容：

日時	内容	講師
10月2日(日)	①開講式・ガイダンス(ジオの視点)	長谷川 修一(危機管理機構) 出射 隆文(工学研究科) 小松 妃良理(高松高校)
	②大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値	長谷川 修一(危機管理機構)
10月30日(日)	③大地の成り立ちから見た香川の災害と名所	長谷川 修一(危機管理機構)
	④大地の成り立ちから見た香川の災害と名産	長谷川 修一(危機管理機構)
	⑤讃岐の風土と郷土料理	西村 美樹(地域マネジメント研究科)
	⑥讃岐の風土と建築	釜床 美也子(創造工学部)
12月18日(日)	⑦讃岐の風土とアート	柴田 悠基(創造工学部)
	⑧デザイン思考入門	柴田 悠基(創造工学部)
	(自主活動)美術展覧会を見学(三木町平木公民館)	柴田 悠基(創造工学部)
1月29日(日)	⑨ジオヒストリー：過去の場所や空間を考察する	守田 逸人(教育学部)
	⑩地域探求の方法	平 篤志(教育学部)
	⑪高松と丸亀の城下町のデザイン	西成 典久(経済学部)
	⑫地理情報システムを活用しよう	野々村 敦子(創造工学部)
3月5日(日)	⑬サヌカイトの里でフィールドワーク(坂出市)	長谷川 修一(危機管理機構) 前田宗一・秋山源(けいの里) 林千景(サヌカイト楽器奏者)
	⑭ワークショップ(坂出市) 「地域の宝を保護しながら活用する方法」	長谷川 修一(危機管理機構)
3月19日(日)	⑮シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」	米谷 雄介(創造工学部)
	⑯「まちのデータ研究室」演習	米谷 雄介(創造工学部)
4月2日(日)	⑰発表会・修了式	長谷川 修一(危機管理機構)・来賓

4. 発表会・修了証授与式：

4.1 日時：2023年4月2日（日）10：00－12：00

4.2 場所：香川大学幸町北キャンパス研究交流棟6階第1講義室

4.3 来賓：小豆島中央高校教頭 公文洋氏

小豆島中央高校教員 須藤大智氏

香川大学創造工学部大学院 出射隆文氏（元高松高校校長）

4.5 スケジュール：

10：00－10：05 開会挨拶

10：05－10：10 来賓挨拶

10：10－10：15 発表の進め方

10：15－11：35 発表会：10分/チーム・人＋質疑3分

11：35－11：45 講評

11：45－11：50 修了証書（ジオアートJr.マイスター認定証）授与

11：50－11：55 集合写真

11：55－12：00 アンケート回答・発表会終了

4.6 発表会

3月5日（日）に坂出市金山周辺で行ったフィールドワークについて発表を行った。香川県の地質遺産であるサヌカイトを保護しながら活用していく方法について考えた。

(1)高松西高校（3名）

内 容：かがわ県民向けにSNS等で発信してはどうかと提案。

コメント（出射）：金山所有者と一緒にコラボして発信してはどうか？

コメント（長谷川）：香川の人だけに発信する方法があるか？

(2)高松工芸高校（3名）

内 容：「けいの里」の施設を知ってもらうために、道中に看板や休憩所を設けるのはどうかと提案。

質問（公文）：調べたことの中で何に魅力を感じたか？

学生の回答：サヌカイト楽器の音をみんなに知ってもらいたい。

落ちていた石を加工するだけで楽器になったことに驚いた。

サヌカイトの音の周波数が気になった。

質問（長谷川）：かせぐためにはどうすればいいか？

学生の回答：一部の人に売れるようにすればいい。

コンサートを色々なところで行う。

サヌカイト楽器を作る人を増やす。

(3)高松高校（2名）

内 容：駅メロで使ってはどうかと提案。

コメント（出射）：サヌカイトを消費せずに発信できるのが面白い。管理しながら自由に演奏できる街角ピアノみたいなものも楽しい。

(4)高松西高校（1名）

内容：フィールドワークの回は欠席したため、独自で吹奏楽とサヌカイトの音について調べた。

質問（公文）：吹奏楽部らしい発表だった。吹奏楽部にサヌカイトパートを作れるか？

学生の回答：ソロパートで入れることは可能。

(5)小豆島中央高校（4名）

内容：金山周辺でスタンプラリーを行って、地域を活性化してはどうかと提案があった。

質問（長谷川）：「けいの里」の入場料はいくらが妥当か？

学生の回答：500円～1000円

コメント（公文）：スタンプラリーは実現可能で面白い。サヌカイトと小豆島の石を比べるとスタンプラリーの面白さが深まる。

(6)高松西高校（1名）

内容：仮想空間上でサヌカイトの音色を売ってはどうかと提案があった。

質問（須藤）：動画のBGMを有料で配信するのはどうか？どんな曲がいいか？

学生の回答：瀬戸の花嫁

(7)高松西高校・高松工芸高校（3名）

内容：音楽会、SNSで発信、江尻町ツアーの実施の提案があった。

質問（長谷川）：発表に当たり難しかったことはあるか？

学生の回答：高校が違うので、打合せがしにくかった。

(8)高松工芸高校（2名）

内容：音楽だけでなく石についてもSNSで発信してはどうかと提案があった。

質問（長谷川）：だれがSNSを発信するのか？

学生の回答：けいの里を応援する人がインスタ、YouTubeなどで発信すると思う。

質問（出射）：建築資材として、住宅で使うアイデアはないか？

学生の回答：音が魅力なので、資材にすると魅力がなくなってしまうため、取り入れたくない。

4.7 修了証授与式

修了証は発表を行った19名に授与された。

5. アンケート結果(図1)

- ・受講した動機は、「大学の先生の講義を受けることができる」「高校での総合学習に役立つ」「香川県についてもっと知りたい、魅力を再発見したい」などと回答された。
- ・面白かった講座の上位2講座は、「サヌカイトの里でフィールドワーク」「高松と丸亀の城下町のデザイン」であった。
- ・役に立つと思った講座の上位2講座は、「地理情報システムを活用しよう」「シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」であった。
- ・発表会では新しい発見があった、知らないことを学べたと多くが回答し、他のチームの発表を見ることもできたこともよかったようである。
- ・発表会の準備を行う講座を行ってほしいと提案があった。

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
ジオアート Jr. マイスター養成講座アンケート結果

1. 全般

①受講した動機

- ・自分の知らない香川を知ることができると思ったから。
- ・大学の先生の講義を受けることができる貴重な機会だと思った。(2)
- ・様々な専門的な視点から、自分の住む香川について学び、再発見できることがあると思った。
- ・高校生で大学の講義に参加できると聞いて興味がわいた。
- ・香川大学の雰囲気を知れた。
- ・講義を受けるという貴重な体験をしてみたいと思ったから。
- ・学校の先生に総合学習に役に立つと言われたから。
- ・香川のことを知ろうと思ったから。
- ・香川の魅力について知りたかったから。大学の講義に興味があったから。
- ・学校で地域探究の授業をしていて、何かヒントになるものがあるかなと思ったから。(2)
- ・香川の魅力を再発見しようと思ったから。(2)
- ・香川についてもっと知りたかったから。(2)
- ・将来の自分の夢に関係していることだったから。
- ・自分たちの地元へのアピールに使えると思ったから。
- ・内容に興味があったから。
- ・地域についてもっと知りたかった。防災、地域でもっと学びを深めたかった。
- ・ジオって何だろう？という興味があったから。

②面白かった講座は？

- ⑬サヌカイトの里でフィールドワーク（坂出市） (13)
- ⑪高松と丸亀の城下町のデザイン (8)
- ⑥讃岐の風土と建築 (5)
- ⑦讃岐の風土とアート (5)
- ⑧デザイン思考入門 (5)
- ⑯「まちのデータ研究室」演習 (5)
- ⑤讃岐の風土と郷土料理 (4)
- ②大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値 (3)
- ⑭ワークショップ（坂出市）「地域の宝を保護しながら活用する方法」 (2)
- ⑮シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」 (2)
- ③大地の成り立ちから見た香川の災害と名所 (1)
- ⑩地域探求の方法 (1)
- ⑫地理情報システムを活用しよう (1)

③役に立つ講座は？

- ⑫地理情報システムを活用しよう (9)
- ⑮シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」 (8)
- ⑯「まちのデータ研究室」演習 (6)
- ⑥讃岐の風土と建築 (5)
- ⑬サヌカイトの里でフィールドワーク（坂出市） (5)
- ②大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値 (4)
- ③大地の成り立ちから見た香川の災害と名所 (4)
- ⑪高松と丸亀の城下町のデザイン (4)
- ④大地の成り立ちから見た香川の災害と名産 (3)
- ⑧デザイン思考入門 (3)
- ⑩地域探求の方法 (2)
- ⑤讃岐の風土と郷土料理 (1)

図 1-(1) アンケート結果 1

- ⑦讃岐の風土とアート (1)
- ⑨ジオヒストリー：過去の場所や空間を考察する (1)
- ⑭ワークショップ（坂出市）「地域の宝を保護しながら活用する方法」(1)

④地元に対して興味をもちましたか？

- ・大変興味を持った 9
- ・興味を持った 9

⑤養成講座開催時期について

- ・開催時期(10月～3月) 14
- ・日曜日の開催 13
- ・土曜日の開催がよい 1

2. 4月2日の発表会・修了証書（または参加証書）授与式について

①発表会は？

- ・大変満足 9
- ・満足 9
- ・普通 1

②上記の理由(★は自由意見)

- ・新しい発見 14
- ・調べることがおもしろかった 4
- ・知らないことを学べた 14
- ・他のチームの発表 14

★自分とは違う発想を聞いて面白かった。

③修了証書（または参加証書）授与式はどうでしたか？

- ・大変満足 10
- ・満足 6
- ・普通 3

④発表会の改善について、希望があれば教えてください。

- ・準備する講座があればいい。それぞれが制作したパワーポイントをみれたらいい。
- ・もっと質疑応答があれば深く知ることができたと思う。

3. ご意見、ご感想がありましたら、自由に記述ください。

- ・普段体験できないことがたくさんできて、とても楽しかったです。新しい友達もできてよかったです。
- ・フィールドワークが特に楽しかったです。色々な話が聞けて良かった。参加してよかった。
- ・素晴らしい体験をありがとうございました。
- ・香川について色々な視点から考えることができて、とても楽しかったです。
- ・何度も忘れてしまい、申し訳ありませんでした。

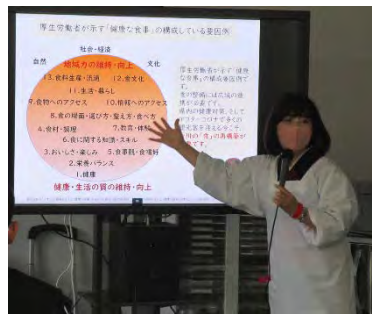
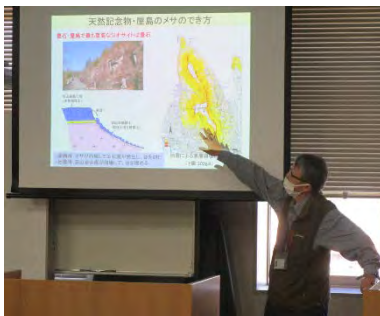
参加申込者：23名（高松商1、高松西7、高松2、工芸9、小豆島中央4）

アンケート回答者（4/2出席者）：19名（高松西7、高松2、工芸6、小豆島中央4）

図1-(2) アンケート結果2



写真①10月2日「開講式・ガイダンス」



写真②10月30日講義



写真③12月18日講義

写真④12月18日自主研修



写真⑤1月29日講義



写真⑥ 3月5日フィールドワーク



写真⑦ 3月19日講義・演習



写真⑧ 4月2日発表会・修了式